

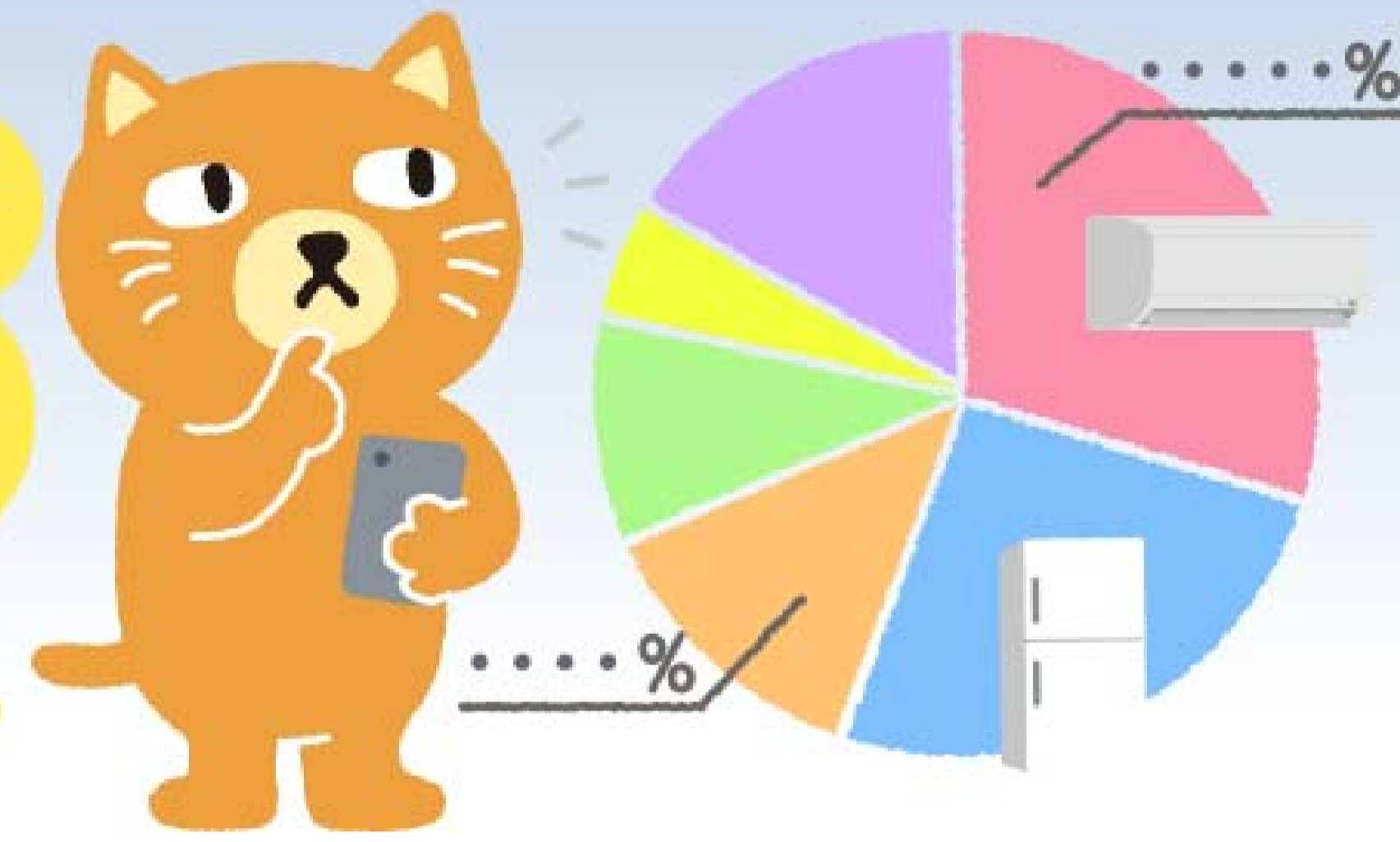
人工知能（AI）を活用した電気使用量分析サービスの技術検証

家電ごとでどれだけ電気をつかったか 見える化サービスの概念検証

背景・目的

- より価値の高いお客さまサービスを提供することを目指しBidgely, Inc. (米国)と株式会社ABEJAが保有している独自のAI技術を活用して、スマートメーターで取得した電気使用量を分析する技術サービスの概念検証を進めています。

電気使用量の内訳を
見える化したら
何かグッドに
ならないかニャ？



特長

米国スタートアップ企業

スマートメーターから取得する電気使用量と天候などのデータを組合せAI分析することで、確度の高い家電利用推定を行う技術を有している。ただし、欧米を対象しており、日本の一般家庭の生活スタイルにあった分析の可能性を検証。

日本

日本のAIスタートアップ企業

データサイエンティストにより、スマートメーターから取得する電気使用量と、実際の家電利用状況を入力を教師データとするAIアルゴリズムを効率することが可能。こうしてカスタマイズした汎用AIによる家電利用分析の可能性を検証。

用途

- 家電ごとに計測器を取り付けることなく簡単に各家電の使用状況を把握できることから、よりお客さまに合った省エネ方法や家電の使い方のアドバイスをご提供するサービスなどをご提供することが可能になります。

●電気料金の中身が見える！

今月の電気料金〇〇円。どの家電製品がたくさん電気を使っているの？

●毎年や季節ごとの電気の使い方の変化が見える！

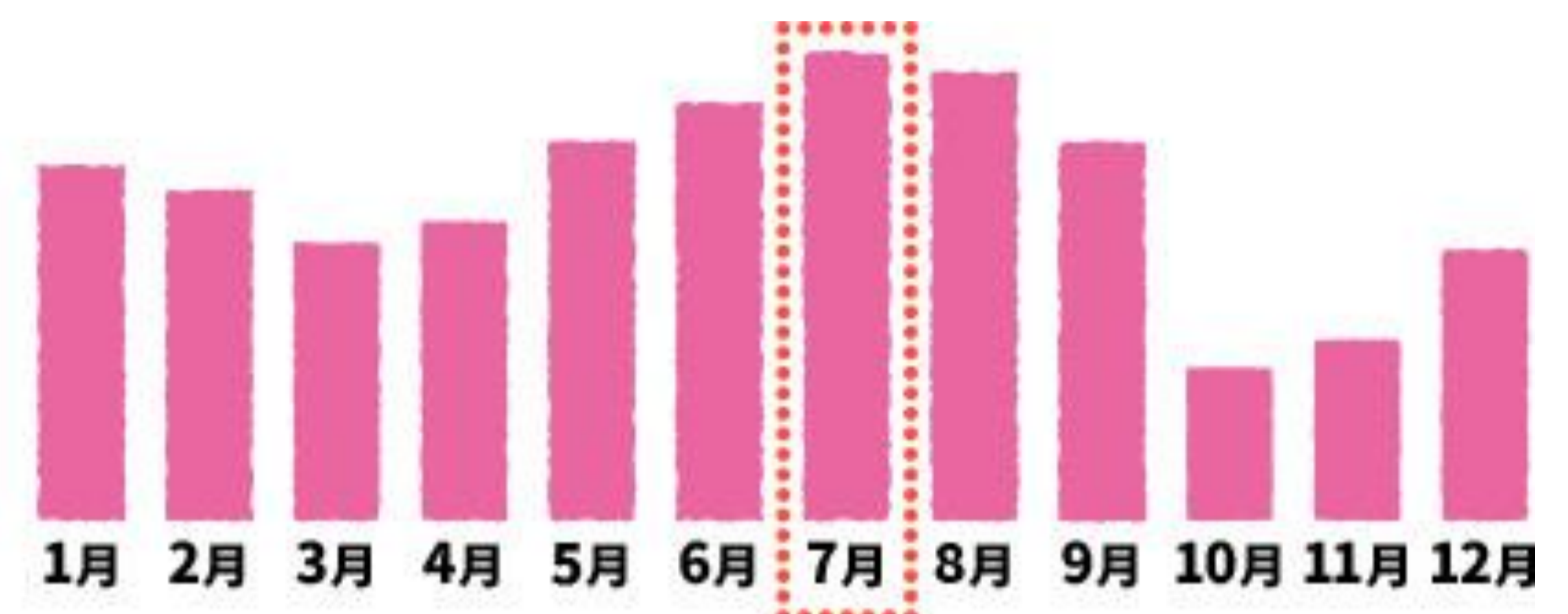
去年夏と比べてエアコンの使用量が増えた？減った？

●省エネ効果が高い家電製品が見える！

たくさんの電気を使っている家電製品はどれだろう。効率よく省エネするにはどの家電製品に注力するのが良い？

●省エネ機器への更新目安が見える！

最新エアコンにすると従来機種より20%電気代がお得って言われたけど、わが家の場合年間いくらお得になる？今は買い替えどき？もう少し使い続けた方が良い？



AI分析技術

